

茨城大学五浦美術文化研究所所員企画展 2022

「つなぐ人つなぐ文」

R I T O

F U M I

—手紙に「見る」そのひとらしさ—

会場 茨城大学図書館本館1階 展示室

会期 令和4年11月8日(火)
～11月21日(月)

開室時間 10:00～16:45

閉室日 11月13日(日)・19日(土)・20日(日)

【入場無料】



■11月12日(土)記念講演会を開催します。
詳しくは裏面をご覧ください。

■事前申し込み制です

上のQRコード(展示用)を使用してお申し込みください。

講演会用QRコードは裏面にあります。

主催 茨城大学五浦美術文化研究所

共催 茨城大学図書館

茨城大学五浦美術文化研究所所員企画展 2022

「つなぐ人 つなぐ文」

—手紙に「見る」そのひとらしさ—

会場 茨城大学図書館本館1階 展示室

会期 令和4年11月8日(火)～11月21日(月)

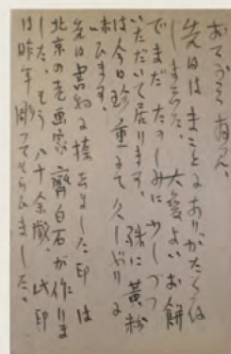
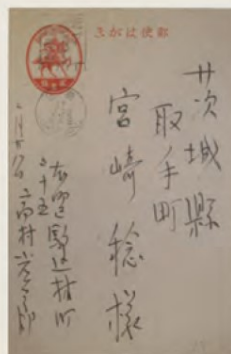
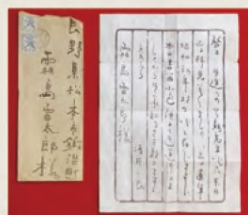
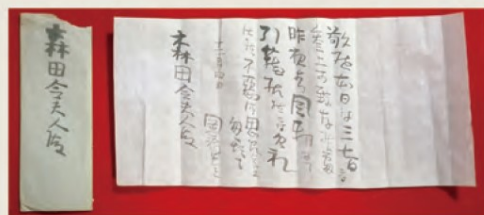
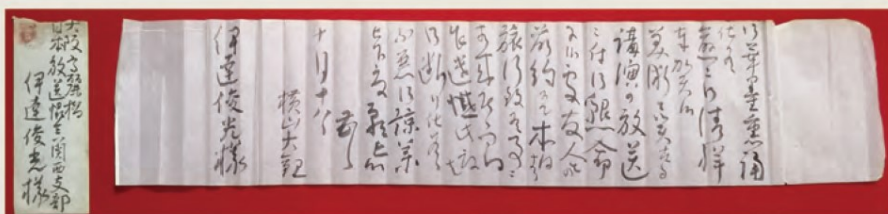
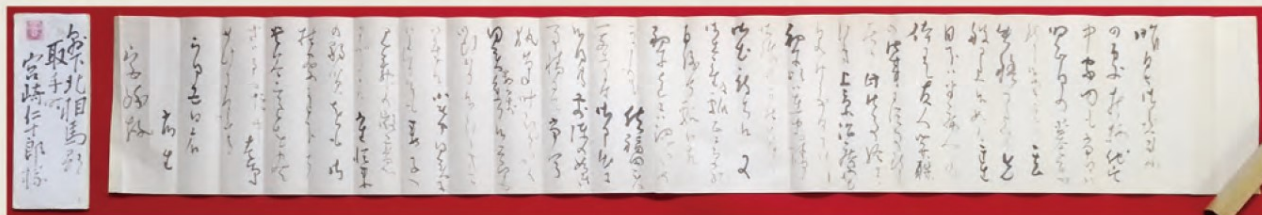
■事前申し込み制

展覧会用 QR コードは表面にあります。

開室時間 10:00～16:45 閉室日 11月13日(日)・19日(土)・20日(日)

【入場無料】

その人らしさが表れる手紙。手紙は当事者間でやり取りするものですから、本来なら本人以外は見ることができないものです。本展は、横山大観、木村武山など五浦ゆかりの画家や大観が認めた小川芋銭、高村光太郎などの手紙に表れる「そのひとらしさ」に触れてみようという企画です。彼らの手紙は草書や変体仮名が使われ、しかも筆を走らせているため、知識がないと「読めない」です。でも、「線」や「書きぶり」を見ることはできます。太さ、細さ、強さ…様々な表現に感じられる「そのひとらしさ」を体験して「読まない」鑑賞を試みませんか。



【図版】 最上部:小川芋銭書簡(宮崎仁十郎宛) 右:小川芋銭短冊(ばけがさ)
上左:小川芋銭扇面(磯牛) 上右:横山大観書簡(伊達俊光宛)
下左:岡倉天心書簡(森田令夫人宛)
下中:酒井三良書簡(霜島雷太郎宛)
下右2点:高村光太郎はがき(宮崎稔宛)

「記念講演会」

会場 茨城大学図書館本館3階 ライブラリーホール

期日 令和4年11月12日(土)

■事前申し込み制

開場 13:10 開演 13:25～15:50

講演1 「小川芋銭の芸術」 小泉晋弥 (茨城大学名誉教授・美術評論家) 13:30～14:20

大観はなぜ、芋銭を日本美術院同人に推挙したのか。その問いから、明治から大正にかけての日本画の展開を考えてみます。

講演2 「光太郎と宮崎稔」 安 裕明 (茨城県立多賀高等学校講師) 14:30～15:20

高村光太郎と小川芋銭をつないだ宮崎稔。取手の宮崎仁十郎・稔父子を通じ、芋銭と光太郎の交流についてお話しします。

◎講演後に質疑の時間を予定しております。

会場案内: JR水戸駅(北口) バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗車、
「茨大前」「茨大前営業所」で下車。時間帯によっては「茨大正門前」で下車することができます。
(バス乗車時間は約25分)

■右のQRコード(講演会用)を使用して → お申し込みください。



主催 茨城大学五浦美術文化研究所 共催 茨城大学図書館

茨城大学図書館 住所 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

問い合わせ先 [平日8:30～17:15] 茨城大学研究・社会連携部社会連携課 TEL:029-228-8425 E-MAIL:6kakudo@ml.ibaraki.ac.jp

本企画は、ダイバーシティ推進室 令和4年度女性エンパワーメント支援制度の事業として実施しております